

McAfee®

spamkiller®

ユーザ ガイド



著作権

Copyright © 2004 Networks Associates Technology, Inc. All Rights Reserved.

Network Associates Technology, Inc. またはそのサブライヤもしくはその関連会社の書面による許可を得ることなく、いかなる形態または手段でも、本出版物の一部または全部の複製、送信、転写、検索システムへの保存、他言語への翻訳を行うことは禁じられています。許可が必要な場合は、マカフィーの法務部門まで書面にてご連絡ください。

マカフィー株式会社 住所: 〒150-0043 東京都渋谷区道玄坂 1-12-1 渋谷マークシティウエスト 20 F. <http://jp.mcafee.com>

商標の帰属

ACTIVE FIREWALL, ACTIVE SECURITY, アクティブ セキュリティ, ACTIVESHIELD, ANTIVIRUS ANYWARE AND DESIGN, CLEAN-UP, DESIGN (E が図案化されたもの), DESIGN (N が図案化されたもの), ENTERCEPT, ENTERPRISE SECURECAST, エンタープライズ セキュリティ, EPOLICY ORCHESTRATOR, FIRST AID, FORCEFIELD, GMT, GROUPSHIELD, グループシールド, GUARD DOG, HOMETAG, HUNTER, INTRUSHIELD, INTRUSION PREVENTION THROUGH INNOVATION, M AND DESIGN, MCAFFEE, マカフィー, MCAFFEE AND DESIGN, MCAFFEE.COM, MCAFFEE VIRUSSCAN, NA NETWORK ASSOCIATES, NET TOOLS, ネットツールズ, NETCRYPTO, NETCOTOPUS, NETSCAN, NETSHIELD, NETWORK ASSOCIATES, NETWORK ASSOCIATES COLLISEUM, NETXRAY, NOTESGUARD, NUTS & BOLTS, OIL CHANGE, PC MEDIC, PCNOTARY, PRIMESUPPORT, RINGFENCE, ROUTER PM, SECURECAST, SECURESELECT, SPAMKILLER, STALKER, THREATSCAN, TIS, TMEG, TOTAL VIRUS DEFENSE, TRUSTED MAIL, UNINSTALLER, VIREX, VIRUS FORUM, VIRUSCAN, VIRUSSCAN, ウイルススキャン, WEBCAN, WEBSHIELD, ウェブシールド, WEBSTALKER, WEBWALL, WHAT'S THE STATE OF YOUR IDS?, WHO'S WATCHING YOUR NETWORK, YOUR E-BUSINESS DEFENDER, YOUR NETWORK, OUR BUSINESS は、米国およびその他の国における McAfee, Inc. またはその関連会社の商標または登録商標です。セキュリティに関連する赤色は、マカフィー ブランド製品独自のものです。本文書に登場するその他の登録商標および未登録商標は、各所有者の独占所有物です。

使用許諾情報

使用許諾契約

ユーザの皆様へ: お客様がお買い求めになったライセンスに従って該当する法的同意書 (ライセンス許可されたソフトウェアの使用について一般条項を定めるものです) をよくお読みください。どのような種類のライセンスを取得したか不明である場合は、販売およびその他関連のライセンス証書を参照するか、ソフトウェアパッケージに含まれている注文書または購入製品の一部として個別に受け取った文書 (ブックレット、製品 CD のファイル、またはソフトウェアパッケージをダウンロードした Web サイトから入手できるファイル) を確認してください。同意書に規定されている条項に合意しない場合は、ソフトウェアをインストールしないでください。その場合、マカフィーまたは製品をお買い上げ頂いた販売店に製品をご返品いただければ、全額を返金いたします。

帰属

この製品には、以下のプログラムの一部またはすべてが含まれます。

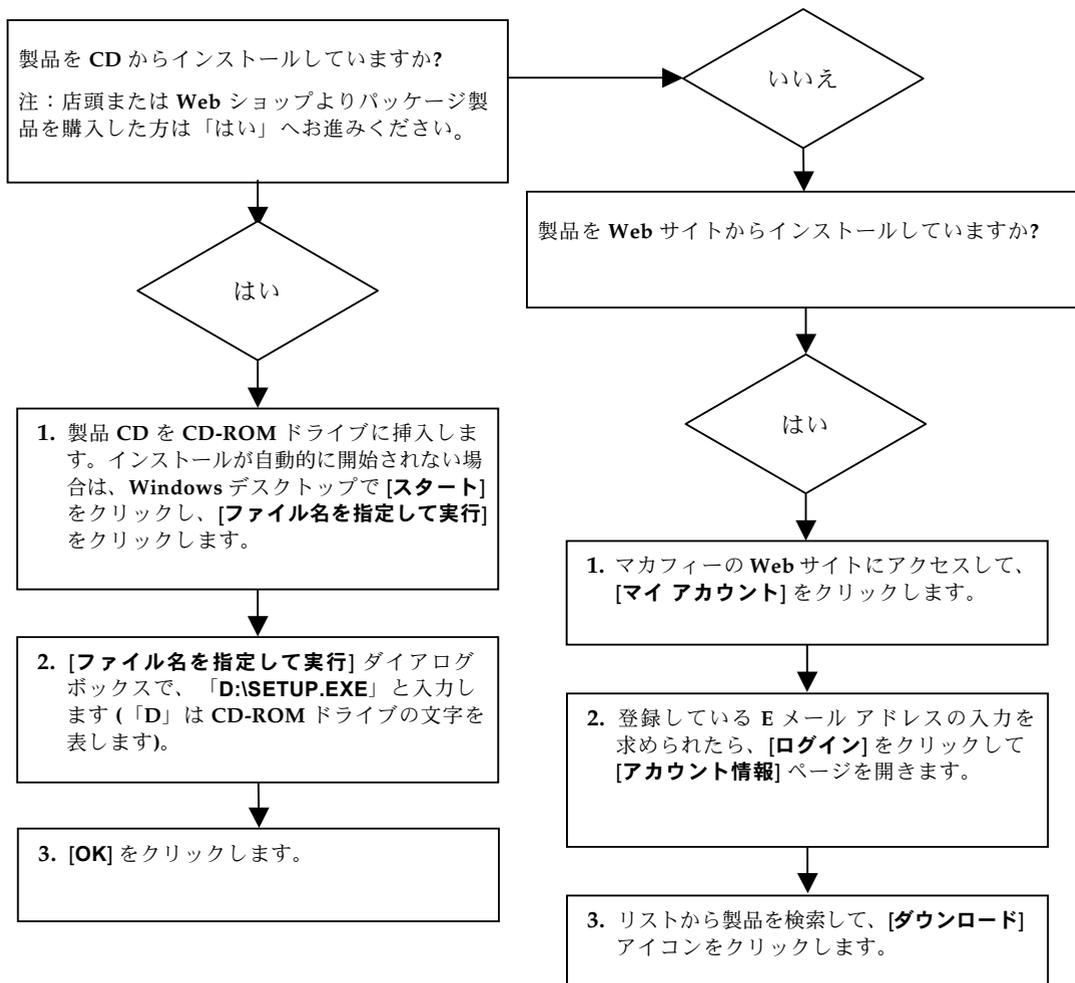
- ◆ OpenSSL Project が開発した OpenSSL Toolkit 用ソフトウェア (<http://www.openssl.org/>)。 ◆ Eric A. Young 氏製作の暗号化ソフトウェア、および Tim J. Hudson 氏製作のソフトウェア。 ◆ 特定のプログラムまたはその一部をコピー、変更、および再配布したり、ソース コードにアクセスしたりすることを他の権利とともに許可する GNU 一般公衆利用許諾契約書 (GPL) または同様の無償ソフトウェア ライセンスに従ってユーザにライセンス (またはサブライセンス) が付与されている一部のソフトウェアプログラム。 GPL は、実行可能なバイナリ形式で配布された GPL 適用対象ソフトウェアについて、そのソース コードもユーザに公開することを義務付けています。 GPL が適用される対象ソフトウェアについては、この CD にソース コードが含まれています。この同意書で認められた権利を超えて、ソフトウェアプログラムを使用、コピー、または変更する権利を McAfee, Inc. が付与することを無償ソフトウェア ライセンスが義務付けている場合は、この同意書にある権利と制限より優先されます。 ◆ Henry Spencer 氏発案のソフトウェア (Copyright 1992, 1993, 1994, 1997 Henry Spencer)。 ◆ Robert Nordier 氏発案のソフトウェア (Copyright © 1996-7 Robert Nordier)。 ◆ Douglas W. Sauder 氏制作のソフトウェア。 ◆ Apache Software Foundation 開発のソフトウェア (<http://www.apache.org/>)。このソフトウェアの使用許諾契約については、<http://www.apache.org/licenses/LICENSE-2.0.txt> を参照してください。 ◆ International Components for Unicode (「ICU」) (Copyright © 1995-2002 International Business Machines Corporation and others)。 ◆ CrystalClear Software, Inc. が開発したソフトウェア (Copyright © 2000 CrystalClear Software, Inc.)。 ◆ FEAD® Optimizer® テクノロジー (Copyright Netopsystems AG, Berlin, Germany)。 ◆ Outside In® Viewer Technology (© 1992-2001 Stellant Chicago, Inc.) または Outside In® HTML Export (© 2001 Stellant Chicago, Inc.)、あるいはその両方。 ◆ Thai Open Source Software Center Ltd. と Clark Cooper 氏 (© 1998, 1999, 2000) の著作権で保護されているソフトウェア。 ◆ Expat 管理者の著作権で保護されているソフトウェア。 ◆ The Regents of the University of California の著作権で保護されているソフトウェア (© 1989)。 ◆ Gunnar Ritter 氏の著作権で保護されているソフトウェア。 ◆ Sun Microsystems®, Inc. の著作権で保護されているソフトウェア (© 2003)。 ◆ Gisle Aas 氏の著作権で保護されているソフトウェア (© 995-2003)。 ◆ Michael A. Chase 氏の著作権で保護されているソフトウェア (© 1999-2000)。 ◆ Neil Winton 氏の著作権で保護されているソフトウェア (© 1995-1996)。 ◆ RSA Data Security, Inc. の著作権で保護されているソフトウェア (© 1990-1992)。 ◆ Sean M. Burke 氏の著作権で保護されているソフトウェア (© 1999, 2000)。 ◆ Martijn Koster 氏の著作権で保護されているソフトウェア (© 1995)。 ◆ Brad Appleton 氏の著作権で保護されているソフトウェア (© 1996-1999)。 ◆ Michael G. Schwern 氏の著作権で保護されているソフトウェア (© 2001)。 ◆ Graham Barr 氏の著作権で保護されているソフトウェア (© 1998)。 ◆ Larry Wall 氏および Clark Cooper 氏の著作権で保護されているソフトウェア (© 1998-2000)。 ◆ Frodo Looijgaard 氏の著作権で保護されているソフトウェア (© 1997)。 ◆ Python Software Foundation の著作権で保護されているソフトウェア (© 2001, 2002, 2003)。このソフトウェアの使用許諾契約については、<http://www.python.org> を参照してください。 ◆ Beman Dawes 氏の著作権で保護されているソフトウェア (© 1994-1999, 2002)。 ◆ Andrew Lumsdaine 氏、Lie-Quan Lee 氏、Jeremy G. Siek 氏製作のソフトウェア (© 1997-2000 University of Notre Dame)。 ◆ Simone Bordet 氏と Marco Cravero 氏の著作権で保護されているソフトウェア (© 2002)。 ◆ Stephen Purcell 氏の著作権で保護されているソフトウェア (© 2001)。 ◆ Indiana University Extreme! Lab 開発のソフトウェア (<http://www.extreme.indiana.edu/>)。 ◆ International Business Machines Corporation ほかの著作権で保護されているソフトウェア (© 1995-2003)。 ◆ University of California, Berkeley およびその貢献者によって開発されたソフトウェア。 ◆ Ralf S. Engelschall 氏 ([rse@engelschall.com](http://www.modssl.org/)) が開発した mod_ssl プロジェクト用ソフトウェア (<http://www.modssl.org/>)。 ◆ Kevin Henney 氏の著作権で保護されているソフトウェア (© 2000-2002)。 ◆ Peter Dimov 氏と Multi Media Ltd. の著作権で保護されているソフトウェア (© 2001, 2002)。 ◆ David Abrahams 氏の著作権で保護されているソフトウェア (© 2001, 2002)。マニュアルについては <http://www.boost.org/libs/bind/bind.html> を参照してください。 ◆ Steve Cleary 氏、Beman Dawes 氏、Howard Hinnant 氏、John Maddock 氏の著作権で保護されているソフトウェア (© 2000)。 ◆ Boost.org の著作権で保護されているソフトウェア (© 1999-2002)。 ◆ Nicolai M. Josuttis 氏の著作権で保護されているソフトウェア (© 1999)。 ◆ Jeremy Siek 氏の著作権で保護されているソフトウェア (© 1999-2001)。 ◆ Daryle Walker 氏の著作権で保護されているソフトウェア (© 2001)。 ◆ Chuck Allison 氏と Jeremy Siek 氏の著作権で保護されているソフトウェア (© 2001, 2002)。 ◆ Samuel Krempff 氏の著作権で保護されているソフトウェア (© 2001)。アップデート、マニュアル、および変更履歴については、<http://www.boost.org> を参照してください。 ◆ Doug Gregor 氏 (gregod@cs.rpi.edu) の著作権で保護されているソフトウェア (© 2001, 2002)。 ◆ Cadenza New Zealand Ltd. の著作権で保護されているソフトウェア (© 2000)。 ◆ Jens Maurer 氏の著作権で保護されているソフトウェア (© 2000, 2001)。 ◆ Jaakko Järvi 氏 (jaakko.jarvi@cs.utu.fi) の著作権で保護されているソフトウェア (© 1999, 2000)。 ◆ Ronald Garcia 氏の著作権で保護されているソフトウェア (© 2002)。 ◆ David Abrahams 氏、Jeremy Siek 氏、Daryle Walker 氏の著作権で保護されているソフトウェア (© 1999-2001)。 ◆ Stephen Cleary 氏 (shammah@voyager.net) の著作権で保護されているソフトウェア (© 2000)。 ◆ Housemarque Oy (<http://www.housemarque.com>) の著作権で保護されているソフトウェア (© 2001)。 ◆ Paul Moore 氏の著作権で保護されているソフトウェア (© 1999)。 ◆ Dr. John Maddock の著作権で保護されているソフトウェア (© 1998-2002)。 ◆ Greg Colvin 氏と Beman Dawes 氏の著作権で保護されているソフトウェア (© 1998, 1999)。 ◆ Peter Dimov 氏の著作権で保護されているソフトウェア (© 2001, 2002)。 ◆ Jeremy Siek 氏と John R. Bandela 氏の著作権で保護されているソフトウェア (© 2001)。 ◆ Joerg Walter 氏と Mathias Koch 氏の著作権で保護されているソフトウェア (© 2000-2002)。

特許情報

米国特許 6,496,875; 6,668,289 により保護されています。

クイック スタート カード

CD または Web サイトから製品をインストールする場合は、本ページの内容を事前にご確認ください。尚、本ページのインストール手順は、各パソコン メーカーのマカフィープリインストール版をご利用のお客様は対象としておりません。インストールし直す必要がある場合は、各パソコン メーカーが提供する手順書等をご確認ください。



マカフィーは通知なしにいつでも更新 & サポート プランおよびポリシーを変更する権利を有します。McAfee および VirusScan は、McAfee, Inc と米国および他国におけるその提携企業の登録商標または商標です。
© 2004 Networks Associates Technology, Inc. All rights reserved.

詳細情報

ユーザ ガイドを表示するには、Acrobat Reader が必要です。インストールされていない場合は、McAfee の製品 CD から Acrobat Reader をインストールしてください (店頭または Web ショップよりパッケージ製品を購入したユーザが対象となります)。

- 1 製品 CD を CD-ROM ドライブに挿入します。
- 2 Windows エクスプローラを開きます。Windows のデスクトップで **[スタート]** をクリックし、**[検索]** をクリックします。
- 3 「マニュアル」フォルダを検索し、開くユーザ ガイドの PDF をダブルクリックします。

ユーザ登録の利点

製品の手順に従ってユーザ登録を直接送信することをお勧めします。ご登録いただくと、テクニカルサポート以外にも、次のような特典もご利用いただけます。

- Web、E メール、電話によるサポート
- McAfee VirusScan ソフトウェアご購入の際に、インストールから 1 年間、ウイルス定義ファイル (DAT) の更新提供
次年度以降の更新料金については、<http://jp.mcafee.com> をご覧ください。
- McAfee SpamKiller ソフトウェアご購入の際に、インストールから 1 年間、McAfee SpamKiller フィルタの更新提供
次年度以降の更新料金については、<http://jp.mcafee.com> をご覧ください。
- McAfee Internet Security Suite ソフトウェアご購入の際に、インストールから 1 年間、McAfee Internet Security Suite の更新提供
次年度以降の更新料金については、<http://jp.mcafee.com> をご覧ください。

テクニカル サポート

テクニカル サポートが必要な場合は、<http://www.mcafeehelp.jp/> にアクセスしてください。

目次

クイック スタート カード	iii
1 はじめに	7
ユーザ オプション	7
フィルタ	7
機能	7
概要	8
[概要] ページ	8
Microsoft Outlook および Outlook Express との統合	8
Microsoft Outlook ツールバー	9
システム要件	9
2 McAfee SpamKiller および SecurityCenter にアクセスする	11
McAfee SpamKiller を開く	11
McAfee SecurityCenter を使用する	11
McAfee SpamKiller のフィルタを無効にする	12
3 E メール アカウントとユーザを管理する	13
E メール アカウントを追加する	13
E メール アカウントを削除する	14
E メール アカウントのプロパティを編集する	15
POP3 アカウント	15
MSN/Hotmail アカウント	17
MAPI アカウント	19
ユーザを追加する	20
ユーザ パスワードを作成して子供をスパムから保護する	21
マルチユーザ環境で McAfee SpamKiller にログオンする	22
4 友人リストを使用する	23
友人リストを開く	24
アドレス帳をインポートする	24
友人を追加する	26
友人を編集する	27
友人を削除する	28

5 ブロックされたメッセージおよび許可されたメッセージを処理する . . . 29

[ブロックされたメール] ページ	29
[許可されたメール] ページ	30
ブロックされたメールおよび許可されたメールに対するタスク	32
メッセージを復元する	32
メッセージをブロックする	33
メッセージを削除する	33
友人リストに友人を追加する	34
フィルタを追加する	34
マカフィーにスパムをレポートする	36
手動で苦情を送信する	36
エラー メッセージを送信する	37

索引 39

McAfee SpamKiller によるこそ。

McAfee SpamKiller ソフトウェアでは、E メール受信ボックスへのスパム メールの配信を防止できます。McAfee SpamKiller では、次の機能を使用できます。

ユーザ オプション

- フィルタを使用したスパム メールのブロック、および受信ボックス外への隔離
- ブロックされたメッセージおよび許可されたメッセージの表示
- 複数の E メール アカウントの監視とフィルタ
- アドレスの友人リストへのインポート
- スпам送信者への対応 (スパムのレポート、苦情の送信、カスタム フィルタの作成)
- スпам メッセージからの子供の保護
- 1 クリック ブロックおよび 1 クリック レスキュー
- ダブル バイト文字設定サポート
- 複数ユーザ サポート (Windows 2000 および Windows XP ユーザ対象)

フィルタ

- フィルタの自動更新
- 画像、非表示のテキスト、無効なフォーマットを含む E メールをブロックするカスタム フィルタの作成
- 階層的なコア フィルタ エンジン
- 辞書攻撃に対するフィルタ
- 階層的なフィルタリングをカスタマイズ
- セキュリティ フィルタ

機能

McAfee SpamKiller では、受信ボックスへのスパム メールの配信を防止できます。

概要

McAfee SpamKiller の各ページの上部ペインには、次のアイコンが表示されます。



- ユーザを切り替える — **[ユーザを切り替える]** をクリックすると、別のユーザとしてログオンできます。

注: **[ユーザを切り替える]** は、コンピュータのオペレーティング システムが Windows 2000 または Windows XP であり、複数のユーザが McAfee SpamKiller に追加されていて、管理者として McAfee SpamKiller にログオンしている場合のみ使用できます。



- サポート — **[サポート]** をクリックすると、McAfee のオンライン **[サポート]** ページが開きます。 **[サポート]** ページには、McAfee SpamKiller およびその他の McAfee 製品に関する最新のトピックやよくある質問に対する答えなどが表示されます。 **[サポート]** ページにアクセスするには、インターネットに接続している必要があります。



- ヘルプ — **[ヘルプ]** をクリックすると、オンライン ヘルプが開きます。 McAfee SpamKiller の設定および使用に関する詳細な手順が表示されます。

[概要] ページ

[概要] タブをクリックして、 **[概要]** ページを開きます。 **[概要]** ページには、次の情報が表示されます。

- 状態 — **[状態]** には、フィルタリングが有効であるか、友人リストがいつ最後に更新されたか、またその日に受信したスパム メッセージの数が示されます。ここから、フィルタリングを無効または有効にしたり、友人リストを更新したり、また **[ブロックされたメール]** ページを開いたりすることができます。
- 最近のスパム — **[最近のスパム]** には、McAfee SpamKiller によってブロックされた最近のスパム メッセージ (受信ボックスから削除されたメッセージ) が表示されます。メッセージを受信ボックスに戻すには、メッセージの横の **[復元]** アイコンをクリックします。
- E メール概要 — **[E メール概要]** には、E メールおよびスパム (ブロックされたメッセージ) の合計数および受信した合計スパム メッセージの割合が表示されます。
- 最近のスパム — **[最近のスパム]** には、過去 30 日間に受信したスパム タイプの明細が表示されます。

Microsoft Outlook および Outlook Express との統合

Outlook Express 6.0、Outlook 98、Outlook 2000、および Outlook XP から McAfee SpamKiller のコア機能に直接アクセスできます。 Outlook および Outlook Express のツールバーに直接組み込まれているボタンをクリックすると、スパムのブロック、友人リストへのアドレスの追加、および隔離されたメールの表示が可能です。

Microsoft Outlook ツールバー

Microsoft Outlook Express 6.0、Outlook 98、Outlook 2000、および Outlook XP のツールバーから、以下のタスクを実行できます。

-  ■ メッセージをブロック — 選択したメッセージを Microsoft Outlook の受信ボックスから削除して、McAfee SpamKiller の [ブロックされたメール] フォルダにメッセージを移動する場合、**[メッセージをブロック]** アイコンをクリックします。
-  ■ ブロックされたメッセージを表示 — Microsoft Outlook のアカウントからブロックされて McAfee SpamKiller の [ブロックされたメール] フォルダに移動されたメッセージを表示する場合、**[ブロックされたメッセージを表示]** アイコンをクリックします。
-  ■ 友人を追加 — パーソナル友人リストに送信者の E メール アドレスを追加する場合、**[友人を追加]** アイコンをクリックします。

McAfee SpamKiller のツールバーは、Outlook および Outlook Express ではデフォルトのツールバーの右側に表示されます。ツールバーが表示されない場合は、Eメールのアプリケーション ウィンドウを拡張するか、矢印をクリックしてより多くのツールバーを表示します。

Eメールアプリケーションで McAfee SpamKiller のツールバーを初めて表示した場合、新しいメッセージにのみツールバーのコマンドを使用できます。既存のスパム Eメールは削除してください。

システム要件

- Microsoft® Windows 98、Windows Me、Windows 2000 Pro、または Windows XP
- 35 MB のハード ディスク空き容量
- CPU:
Windows 98、Windows ME — Pentium 150 MHz 以上
Windows 2000 Pro、Windows XP — Pentium 233 MHz 以上
- メモリ:
Windows 98 — 32MB 以上 (64MB 推奨)
Windows ME、Windows 2000 Pro、Windows XP — 64MB 以上 (128MB 推奨)
- Microsoft Internet Explorer 5.5 以降。Internet Explorer の最新バージョンにアップグレードするには、Microsoft Web サイト (<http://www.microsoft.com/japan>) にアクセスしてください。

注

McAfee SpamKiller でフィルタを実行するには、POP3、MAPI、または MSN/Hotmail の Eメール アカウントが必要です。

McAfee SpamKiller および SecurityCenter にアクセスする

2



McAfee SpamKiller をインストールすると、システム時計の近くのシステムトレイに**マカフィー・アイコン**が表示されます。**マカフィー・アイコン**から、コンピュータにインストールされている McAfee SpamKiller、McAfee SecurityCenter、およびその他の McAfee 製品にアクセスできます。

McAfee SpamKiller を開く



McAfee SpamKiller を開くには

マカフィー・アイコンを右クリックして、**[SpamKiller]**をポイントしてから**[ブロックされたメールを表示]**、**[統計の表示]**、**[友人リストの表示]**、または**[設定]**をクリックします。該当するページが表示されます。

注

[ログオン]ダイアログボックスが表示された場合は、ログオンパスワードを入力して**[OK]**をクリックしてください。

McAfee SecurityCenter を使用する

McAfee SecurityCenter では、Windows システムトレイにあるアイコンまたは Windows デスクトップからセキュリティに関するすべての操作を実行できます。McAfee SecurityCenter では、McAfee SpamKiller にアクセスでき、次の有用なタスクを実行できます。

- パソコンのセキュリティ分析 (無償) を受ける
- 1つのアイコンから McAfee のすべてのサービスを起動、管理、設定する
- 最新のウイルス情報と最新の製品情報を表示する
- マカフィーの Web サイトにある FAQ (よくある質問) やアカウントの詳細に迅速にリンクする

注

McAfee SecurityCenter の機能の詳細については、McAfee SecurityCenter のダイアログボックスで**[ヘルプ]**をクリックしてください。



McAfee SecurityCenter が実行中で、コンピュータにインストールされている McAfee のすべての機能が有効になっている場合、赤色の **[M]** アイコンが Windows のシステムトレイに表示されます。この領域は、通常は Windows デスクトップの右下隅にあり、時計が表示されています。



コンピュータにインストールされている 1 つまたは複数の McAfee アプリケーションが無効になっている場合は、**マカフィー・アイコン**は黒色に変わります。

McAfee SecurityCenter を開くには

- 1 **マカフィー・アイコン**を右クリックします。
- 2 **[SecurityCenter を開く]** をクリックします。

McAfee SpamKiller のフィルタを無効にする

McAfee SpamKiller を無効にして、フィルタを一時停止できます。



フィルタを無効にするには

マカフィー・アイコン を右クリックし、**[SpamKiller]** をポイントしてから、**[無効にする]** をクリックします。

または

[概要] タブをクリックして、**[無効にするにはここをクリック]** をクリックします。

フィルタを有効にするには

マカフィー・アイコンを右クリックし、**[SpamKiller]** をポイントしてから、**[有効にする]** をクリックします。

または

[概要] タブをクリックして、**[有効にするにはここをクリック]** をクリックします。

Eメールアカウントとユーザを管理する

3

Eメールアカウントを追加する

McAfee SpamKiller では、次のタイプの E メール アカウントをフィルタできます。

- ほとんどの個人ユーザはこの POP3 のアカウントを持ちます。
- MSN/Hotmail アカウント — MSN/Hotmail の Web ベースのアカウント。
- MAPI E メール アカウント — ローカル ネットワーク E メール アカウント。勤務先で Microsoft® Exchange Server を実行している場合、多くの企業ユーザはこのタイプのアカウントを持ちます。アカウントを McAfee SpamKiller に追加する前に、有効な MAPI プロフィールを設定する必要があります。

注

ご使用のコンピュータで Windows 2000 または Windows XP を実行しており、McAfee SpamKiller に複数のユーザを追加する予定の場合は、ユーザを追加してからそれぞれのユーザ プロフィールに E メール アカウントを追加する必要があります。詳細については、[20 ページの「ユーザを追加する」](#)を参照してください。McAfee SpamKiller に複数のユーザを追加する場合、追加するアカウントは、McAfee SpamKiller に現在ログオンしているユーザのプロフィールに追加されます。

Eメールアカウントを追加するには

- 1 **[設定]** タブをクリックしてから、**[Eメールアカウント]** をクリックします。**[Eメールアカウント]** ダイアログ ボックスが開き、McAfee SpamKiller に追加されているすべての E メール アカウントが表示されます。

注

McAfee SpamKiller に複数のユーザが追加されている場合、リストには McAfee SpamKiller に現在ログオンしているユーザの E メール アカウントが表示されます。

- 2 **[追加]** をクリックします。E メール アカウント ウィザードが表示されます。
- 3 ダイアログ ボックスに表示される手順に従います。

MSN/Hotmail アカウントを追加する場合は、McAfee SpamKiller により MSN/Hotmail のアドレス帳が検索され、パーソナル友人リストにインポートされます。

E メールクライアントを McAfee SpamKiller にポイントするには

McAfee SpamKiller によって検出されなかったアカウント (**[アカウントを選択する]** ダイアログ ボックスに表示されなかったアカウント) を追加した場合、または MSN/Hotmail の E メールを McAfee SpamKiller で POP3 アカウントとして読むことを希望する場合、E メールクライアントを McAfee SpamKiller にポイントします。

- 1 受信 E メールサーバを変更します。たとえば、受信 E メールサーバを「mail.mcafee.com」から「localhost」に変更します。
- 2 (POP3 アカウントの場合のみ) ユーザ名を完全な E メール アドレスに変更します。たとえば、E メールアドレスが「name@example.com」の場合、「name@example.com」に置き換えます。

E メールアカウントを削除する

McAfee SpamKiller により E メールアカウントをフィルタする必要がない場合は、McAfee SpamKiller からその E メールアカウントを削除します。

McAfee SpamKiller から E メールアカウントを削除するには

- 1 **[設定]** タブをクリックしてから、**[E メール アカウント]** を選択します。**[E メール アカウント]** ダイアログ ボックスが開き、McAfee SpamKiller に追加されているすべての E メール アカウントが表示されます。

注

McAfee SpamKiller に複数のユーザが追加されている場合、リストには McAfee SpamKiller に現在ログオンしているユーザの E メールアカウントが表示されます。

- 2 アカウントを選択してから、**[削除]** をクリックします。

E メール アカウントのプロパティを編集する

McAfee SpamKiller に追加した E メール アカウントに関する情報を編集できます。たとえば、E メール アドレス、アカウントの説明、サーバの情報、McAfee SpamKiller によりアカウントのスパムを確認する頻度、インターネットへの接続方法などを変更することができます。

POP3 アカウント

POP3 アカウントを編集するには

- 1 **[設定]** タブをクリックしてから、**[E メール アカウント]** をクリックします。**[E メール アカウント]** ダイアログ ボックスが開き、McAfee SpamKiller に追加されているすべての E メール アカウントが表示されます。

注

McAfee SpamKiller に複数のユーザが追加されている場合、リストには McAfee SpamKiller に現在ログオンしているユーザの E メール アカウントが表示されます。

- 2 POP3 アカウントを選択してから、**[編集]** をクリックします。
- 3 **[一般]** タブをクリックして、アカウントの説明と E メール アドレスを編集します。
 - ◆ **[説明]**— アカウントの説明。このフィールドには任意の情報を入力できます。
 - ◆ **[E メール アドレス]**— アカウントの E メール アドレス。
- 4 **[サーバ]** タブをクリックして、サーバ情報を編集します。
 - ◆ **[受信 E メール]**— メールを受信するサーバの名前。
 - ◆ **[ユーザ名]**— アカウントにアクセスするために使用するユーザ名。アカウント名ともいいます。
 - ◆ **[パスワード]**— アカウントにアクセスするために使用するパスワード。
 - ◆ **[送信 E メール]**— メールを送信するサーバの名前。**[詳細]** をクリックすると、送信サーバの認証要件を編集できます。
- 5 **[確認]** タブをクリックして、McAfee SpamKiller でアカウントのスパムを確認する頻度を編集します。
 - a **[確認頻度]** または **[確認する時刻]** のいずれかを選択して、対応するフィールドから時刻を選択します。
 - b McAfee SpamKiller でアカウントをフィルタする別の時刻を選択することもできます。

[スタートアップで確認]— 直接接続を使用していて、コンピュータの起動時に毎回 McAfee SpamKiller によってアカウントを確認する場合は、このオプションを選択します。

[ダイヤルアップ接続時に確認]—ダイヤルアップ接続を使用していて、インターネットへの接続時に毎回 McAfee SpamKiller によってアカウントを確認する場合は、このオプションを選択します。

- 6 **[接続]** タブをクリックして、McAfee SpamKiller によるインターネットの接続方法を指定します。フィルタが必要な新しいメッセージがないかどうか、受信ボックスを確認できます。

- ◆ **[ダイヤルアップ接続しない]**—McAfee SpamKiller により自動的にインターネットにダイヤルされません。ダイヤルアップ接続を手動で行う必要があります。
- ◆ **[必要に応じてダイヤルアップ接続する]**—インターネット接続が無効になっている場合は、McAfee SpamKiller によりデフォルトのインターネット接続に自動的にダイヤルされます。
- ◆ **[常にダイヤルする]**—McAfee SpamKiller により、指定のダイヤルアップ接続に自動的に接続されます。
- ◆ **[フィルタリングが終了した後も接続状態にしておく]**—フィルタが終了した後もインターネット接続は維持されます。

- 7 **[詳細設定]** タブをクリックして、詳細設定オプションを編集します。

- ◆ **[サーバにスパムメッセージを残す]**—ブロックされたメッセージのコピーを E メールサーバ上に維持するには、このチェックボックスをオンにします。

ブロックされたメッセージをサーバ上に残すと、E メールクライアントおよび McAfee SpamKiller の [ブロックされたメール] ページの両方からメールを表示できます。チェックボックスがオフの場合、ブロックされたメッセージを表示できるのは [ブロックされたメール] ページからのみです。E メールクライアントからは表示できません。

- ◆ **[POP3 ポート]** (POP3 ポート番号)—POP3 サーバが受信メッセージを処理します。
- ◆ **[SMTP ポート]** (SMTP ポート番号)—SMTP サーバが送信メッセージを処理します。
- ◆ **[サーバタイムアウト]**—Eメールの受信待機中に McAfee SpamKiller がタイムアウトするまでの時間。

メールの受信に問題がある場合、サーバタイムアウトの値を大きくします。Eメール接続が遅い可能性があるため、サーバタイムアウトの値を大きくすることによって、McAfee SpamKiller がタイムアウトするまでの時間が長くなります。

- 8 **[OK]** をクリックします。

MSN/Hotmail アカウント

MSN/Hotmail アカウントを編集するには

- 1 **[設定]** タブをクリックしてから、**[E メール アカウント]** をクリックします。

[E メール アカウント] ダイアログ ボックスが開き、McAfee SpamKiller に追加されているすべての E メール アカウントが表示されます。

注

McAfee SpamKiller に複数のユーザが追加されている場合、リストには McAfee SpamKiller に現在ログオンしているユーザの E メール アカウントが表示されます。

- 2 MSN/Hotmail アカウントを選択してから、**[編集]** をクリックします。
- 3 **[一般]** タブをクリックして、アカウントの説明と E メール アドレスを編集します。
 - ◆ **[説明]**— アカウントの説明。このフィールドには任意の情報を入力できます。
 - ◆ **[E メール アドレス]**— アカウントの E メール アドレス。
- 4 **[サーバ]** タブをクリックして、サーバ情報を編集します。
 - ◆ **[受信 E メール]**— メールを受信するサーバの名前。
 - ◆ **[パスワード]**— アカウントにアクセスするために使用するパスワード。
 - ◆ **[送信 E メール]**— メールを送信するサーバの名前。
 - ◆ **[送信 E メールに SMTP サーバを使用する]**— エラー メッセージを送信する予定で、エラー メッセージに MSN の署名の行を挿入しない場合は、このオプションを選択します。MSN の署名が挿入されていると、スパム送信者にエラー メッセージが見せかけであると認識されやすくなります。

[詳細] をクリックすると、送信サーバの認証要件を変更できます。
- 5 **[確認]** タブをクリックして、McAfee SpamKiller でアカウントのスパムを確認する頻度を指定します。

- a **[確認頻度]** または **[確認する時刻]** のいずれかを選択して、対応するフィールドから時刻を選択します。
- b McAfee SpamKiller でアカウントをフィルタする別の時刻を選択することもできます。

[スタートアップで確認]— 直接接続を使用していて、McAfee SpamKiller の起動時に毎回 McAfee SpamKiller によってアカウントを確認する場合は、このオプションを選択します。

[ダイヤルアップ接続時に確認]— ダイヤルアップ接続を使用していて、インターネットへの接続時に毎回 McAfee SpamKiller によってアカウントを確認する場合は、このオプションを選択します。

- 6 **[接続]** タブをクリックして、McAfee SpamKiller によるインターネットの接続方法を指定します。フィルタが必要な新しいメッセージがないかどうか、受信ボックスを確認できます。
 - ◆ **[ダイヤルアップ接続しない]**— McAfee SpamKiller により自動的にインターネットにダイヤルされません。ダイヤルアップ接続を手動で行う必要があります。
 - ◆ **[必要に応じてダイヤルアップ接続する]**— インターネット接続が無効になっている場合は、McAfee SpamKiller によりデフォルトのインターネット接続に自動的にダイヤルされます。
 - ◆ **[常にダイヤルする]**— McAfee SpamKiller により、指定のダイヤルアップ接続に自動的に接続されます。
 - ◆ **[フィルタリングが終了した後も接続状態にしておく]**— フィルタが終了した後もインターネット接続は維持されます。
- 7 **[OK]** をクリックします。

Outlook または Outlook Express でスパムをブロックできるように Hotmail アカウントを設定するには

McAfee SpamKiller では、Hotmail アカウントを直接フィルタできます。詳細については、オンライン ヘルプを参照してください。ただし、Hotmail アカウントを設定するまでは、Outlook または Outlook Express の McAfee SpamKiller ツールバーを使用してメッセージをブロックしたり、友人を追加したりすることはできません。

- 1 McAfee SpamKiller で Hotmail アカウントを設定します。
- 2 Outlook または Outlook Express で既存の Hotmail アカウントを持っている場合は、そのアカウントを削除する必要があります。
- 3 Hotmail アカウントを Outlook または Outlook Express に追加します。アカウントタイプおよび受信メール サーバタイプに **[POP3]** を選択していることを確認します。
- 4 受信サーバに「localhost」と名前を付けます。
- 5 使用可能な送信 SMTP サーバの名前を入力します (必須)。
- 6 アカウントの設定プロセスを完了します。これで、新しい Hotmail スパム E メールをブロックしたり、友人を追加したりできるようになりました。

MAPI アカウント

McAfee SpamKiller を Outlook の MAPI と正常に統合させるには、次の条件が必要です。

- Outlook 98 の場合、Outlook が企業 / ワークグループのサポート付きでインストールされている
- Outlook 98 の場合、最初の E メール アカウントが MAPI アカウント
- コンピュータがドメインにログインしている

MAPI アカウントを編集するには

- 1 **[設定]** タブをクリックしてから、**[E メール アカウント]** をクリックします。**[E メール アカウント]** ダイアログ ボックスが開き、McAfee SpamKiller に追加されているすべての E メール アカウントが表示されます。

注

McAfee SpamKiller に複数のユーザが追加されている場合、リストには McAfee SpamKiller に現在ログオンしているユーザの E メール アカウントが表示されます。

- 2 MAPI アカウントを選択してから、**[編集]** をクリックします。
- 3 **[一般]** タブをクリックして、アカウントの説明と E メール アドレスを編集します。
 - ◆ **[説明]**— アカウントの説明。このフィールドには任意の情報を入力できます。
 - ◆ **[E メール アドレス]**— アカウントの E メール アドレス。
- 4 **[プロフィール]** タブをクリックして、プロフィール情報を編集します。
 - ◆ **[プロフィール]**— アカウントの MAPI プロフィール。
 - ◆ **[パスワード]**— 設定されている場合は、MAPI プロフィールに対応するパスワード (E メール アカウント パスワードである必要はありません)。
- 5 **[接続]** タブをクリックして、McAfee SpamKiller によるインターネットの接続方法を指定します。フィルタが必要な新しいメッセージがないかどうか、受信ボックスを確認できます。
 - ◆ **[ダイヤルアップ接続しない]**— McAfee SpamKiller により自動的にインターネットにダイヤルされません。ダイヤルアップ接続を手動で行う必要があります。
 - ◆ **[必要に応じてダイヤルアップ接続する]**— インターネット接続が無効になっている場合は、McAfee SpamKiller によりデフォルトのインターネット接続に自動的にダイヤルされます。
 - ◆ **[常にダイヤルする]**— McAfee SpamKiller により、指定のダイヤルアップ接続に自動的に接続されます。
 - ◆ **[フィルタリングが終了した後も接続状態にしておく]**— フィルタが終了した後もインターネット接続は維持されます。
- 6 **[OK]** をクリックします。

ユーザを追加する

McAfee SpamKiller では、Windows 2000 または Windows XP オペレーティング システムに設定されているユーザに対応する複数のユーザを設定できます。

コンピュータに McAfee SpamKiller がインストールされている場合は、ログオンしていた Windows ユーザに対して、管理者のユーザ プロフィールが自動的に作成されます。インストール時に McAfee SpamKiller に E メールアカウントを追加した場合は、管理者のユーザ プロフィールに E メールアカウントが追加されています。

McAfee SpamKiller に他の E メールアカウントを追加する前に、他の McAfee SpamKiller ユーザを追加する必要があるかどうかを判断してください。複数のユーザが同じコンピュータを使用していて、各ユーザが専用の E メールアカウントを持っている場合は、ユーザを追加すると効果的です。各ユーザの E メールアカウントは、そのユーザのプロフィールに追加されます。これにより、ユーザは、自分自身の E メールアカウント、個人の設定、パーソナルフィルタ、およびパーソナル友人リストを管理できます。

ユーザタイプによって、McAfee SpamKiller でユーザが実行できるタスクが定義されます。次の表に、各ユーザタイプのアクセス許可の概要を示します。管理者はすべてのタスクを実行できますが、限定ユーザは個人のプロフィールのタスクのみを実行できます。たとえば、管理者はブロックされたメッセージの内容を表示できますが、限定ユーザはブロックされたメッセージの件名のみ表示できます。

タスク	管理者	限定ユーザ
個人の E メール アカウント、パーソナルフィルタ、パーソナル友人リスト、および個人のサウンド設定の管理	○	○
個人の [ブロックされたメール] ページおよび [許可されたメール] ページの管理	○	○
ブロックされたメッセージのメッセージ テキストの表示	○	
許可されたメッセージのメッセージ テキストの表示	○	○
グローバル フィルタおよびグローバル友人リストの管理	○	
McAfee へのスパムのレポート	○	○
苦情およびエラー メッセージの送信	○	○
苦情およびエラー メッセージの管理 (メッセージ テンプレートの作成、編集、および削除)	○	
ユーザの管理 (ユーザの削除、編集、および削除)	○	
McAfee SpamKiller のバックアップと復元	○	
受信したスパムの [概要] ページの表示	○	○

ユーザを追加した後に、次回ユーザがコンピュータにログオンすると、McAfee SpamKiller によって、E メール アカウントをユーザ プロフィールに追加するようメッセージが表示されます。

ユーザを追加および管理するには、以下の要件が必要です。

- 管理者として McAfee SpamKiller にログオンする
- コンピュータのオペレーティング システムが Windows 2000 または Windows XP
- ユーザが Windows のユーザ アカウントを持っている

ユーザ パスワードを作成して子供をスパムから保護する

ユーザ パスワードを作成することで、ユーザのプライバシーが 1 段階向上します。あるユーザの個人の設定、友人リスト、および許可された E メール リストに、ログオン パスワードを持たない別のユーザがアクセスすることはできません。パスワードを作成することは、子供が McAfee SpamKiller にアクセスしてスパム メッセージの内容を表示できないようにする上でも効果的です。

既存の McAfee SpamKiller ユーザのパスワードを作成するには

- 1 **[設定]** タブをクリックしてから、**[ユーザ]** をクリックします。
- 2 ユーザを選択してから、**[編集]** をクリックします。
- 3 **[パスワード]** フィールドにパスワードを入力します。ユーザは、McAfee SpamKiller にアクセスするときに、パスワードを入力してログオンする必要があります。

重要

忘れてしまったパスワードは、取り戻すことはできません。McAfee SpamKiller の管理者ユーザのみがパスワードを作成できます。

McAfee SpamKiller にユーザを追加するには

- 1 **[設定]** タブをクリックしてから、**[ユーザ]** をクリックします。
- 2 **[追加]** をクリックします。

Windows ユーザのリストが表示されます。リストに表示されないユーザを追加するには、最初にそのユーザの Windows ユーザ アカウントを作成します。その後、新しいユーザは、コンピュータに少なくとも 1 回ログオンする必要があります。ログオン後にユーザを McAfee SpamKiller に追加します。

注

管理者権限を持つ Windows ユーザは、McAfee SpamKiller ユーザとしての管理者権限も持ちます。

- 3 追加するユーザを選択してから、**[OK]** をクリックします。ユーザが McAfee SpamKiller に追加され、McAfee SpamKiller ユーザのリストにユーザ名が表示されます。
- 4 ユーザの追加が終了したら、**[閉じる]** をクリックします。

ユーザのパスワードを作成するには、[21 ページの「既存の McAfee SpamKiller ユーザのパスワードを作成するには」](#)を参照してください。

次回ユーザがコンピュータにログオンすると、自身の McAfee SpamKiller ユーザ プロフィールに E メール アカウントを追加するようメッセージが表示されます。そのユーザとして McAfee SpamKiller にログオンしていて、必要な E メール アカウント情報を持っている場合は、ユーザプロフィールに E メール アカウントを追加できます。詳細については、[13 ページの「E メール アカウントを追加する」](#)を参照してください。

McAfee SpamKiller ユーザ プロフィールを編集するには

- 1 **[設定]** タブをクリックしてから、**[ユーザ]** をクリックします。McAfee SpamKiller ユーザのリストが表示されます。
- 2 ユーザを選択してから、**[編集]** をクリックします。
- 3 新しい名前とパスワードを入力します。

McAfee SpamKiller ユーザ プロフィールを削除するには

警告

ユーザプロフィールを削除すると、そのユーザの E メール アカウントも McAfee SpamKiller から削除されます。

- 1 **[設定]** タブをクリックしてから、**[ユーザ]** をクリックします。McAfee SpamKiller ユーザのリストが表示されます。
- 2 リストからユーザを選択して、**[削除]** をクリックします。

マルチユーザ環境で McAfee SpamKiller にログオンする

ユーザがコンピュータにログオンして McAfee SpamKiller を開くと、該当するユーザプロフィールで自動的に McAfee SpamKiller にログオンします。ユーザに McAfee SpamKiller パスワードが割り当てられている場合は、表示される **[ログオン]** ダイアログ ボックスでパスワードを入力する必要があります。

ユーザを切り替えるには

管理者として McAfee SpamKiller にログオンする

- 1 画面の最上部にある **[ユーザを切り替える]** をクリックします。**[ユーザを切り替える]** ダイアログ ボックスが表示されます。
- 2 ユーザを選択してから、**[OK]** をクリックします。ユーザにパスワードが割り当てられている場合は、**[ログオン]** ダイアログ ボックスが表示されます。**[パスワード]** ボックスにユーザ パスワードを入力して、**[OK]** をクリックします。

友人の名前と E メール アドレスを友人リストに追加することをお勧めします。このリストに含まれる E メール アドレスからのメッセージは McAfee SpamKiller によってブロックされないため、友人を追加しておくことで、正当なメッセージが確実に届けられます。

McAfee SpamKiller では、名前、E メール アドレス、ドメイン、および送信リストを友人リストに追加できます。複数のアドレスは、一度に 1 つずつ追加するか、または E メール プログラムからアドレス帳をインポートすることですべて同時に追加します。

McAfee SpamKiller は、2 種類の友人リストを保持しています。

- **グローバル友人リスト** — グローバル友人リストは、McAfee SpamKiller のユーザのすべての E メール アカウントを対象とします。McAfee SpamKiller に複数のユーザが追加されている場合、グローバル友人リストを管理するには、管理者として McAfee SpamKiller にログインする必要があります。
- **パーソナル友人リスト** — パーソナル友人リストは、特定のユーザに関連付けられているすべての E メール アカウントを対象とします。McAfee SpamKiller に複数のユーザが追加されている場合、パーソナル友人リストを管理するには、そのリストを使用するユーザとして McAfee SpamKiller にログインする必要があります。

友人リストに友人を追加すると、リストにあるアドレスからの E メールはブロックされません。[友人] ページ には、友人リストに追加された名前とアドレスが表示されます。また、アドレスが追加された日付およびそのアドレスから受信したメッセージの総数も表示されます。

[E メール アドレス] タブをクリックして、友人リストの E メール アドレスを表示します。
[ドメイン] タブをクリックして、リストのドメイン アドレスを表示します。[送信リスト] タブをクリックして、友人リストの送信リストを表示します。

グローバル友人リストとパーソナル友人リストを切り替えるには、[E メール アドレス]、[ドメイン]、または [送信リスト] タブの下矢印  をクリックして、[パーソナル友人リスト] を選択します。

友人リストを開く

- 1 友人リストを開くには、[友人]タブをクリックします。
- 2 [E メール アドレス]、[ドメイン]、または[送信リスト]タブをクリックします。グローバル友人リストが表示されます。パーソナル友人リストを表示するには、いずれかのタブの下矢印  をクリックして、[パーソナル友人リスト]を選択します。

注

コンピュータのオペレーティング システムが Windows 2000 または Windows XP であり、複数のユーザが McAfee SpamKiller に追加されている場合、限定ユーザはパーソナル友人リストのみ表示できます。

アドレス帳をインポートする

友人リストへのアドレス帳のインポートは、手動または自動インポートによって行います。自動インポートを使用すると、アドレス帳に新しいアドレスがあるかどうかを McAfee SpamKiller で定期的にチェックして、新しいアドレスを友人リストに自動的にインポートできます。

以下の E メール プログラムからアドレス帳をインポートできます。

- Microsoft Outlook (バージョン 98 以降)
- Microsoft Outlook Express (すべてのバージョン)
- Netscape Communicator (バージョン 6、LDIF ファイルとしてエクスポートした場合はバージョン 6 以前のバージョン)
- Qualcomm Eudora (バージョン 5 以降)
- IncrediMail Xe
- MSN/Hotmail
- アドレス帳をテキスト ファイルとしてエクスポートできるプログラム

自動インポートによってアドレス帳をインポートするには

アドレス帳からアドレスをインポートするスケジュールを作成すると、パーソナル友人リストを定期的に更新できます。

- 1 [設定]タブをクリックしてから、[アドレス帳]をクリックします。[アドレス帳をインポートする]ダイアログ ボックスが開きます。ダイアログ ボックスに、McAfee SpamKiller が定期的に確認して新しいアドレスをインポートするアドレス帳のリストが表示されます。
- 2 [追加]をクリックします。[スケジュールをインポートする]ダイアログ ボックスが表示されます。
- 3 インポートするアドレス帳の[タイプ]とアドレス帳の[ソース]を選択します。

- 4 **[スケジュール]** フィールドから、McAfee SpamKiller でアドレス帳の新しいアドレスを確認する頻度を選択します。
- 5 **[OK]** をクリックします。更新後、パーソナル友人リストに新しいアドレスが表示されます。

アドレス帳を手動でインポートするには

パーソナル友人リストまたはグローバル友人リストにアドレス帳を手動でインポートできません。

注

ご使用のコンピュータで Windows 2000 または Windows XP を実行しており、McAfee SpamKiller に複数のユーザが追加されている場合は、管理者として McAfee SpamKiller にログオンしてグローバル友人リストにアドレスを追加する必要があります。

- 1 **[友人]** タブをクリックしてから、**[アドレス帳をインポートする]** をクリックします。
[アドレス帳をインポートする] ダイアログ ボックスに、インポートできるアドレス帳のタイプが表示されます。
- 2 インポートするアドレス帳の種類を選択するか、**[参照]** をクリックしてファイルに保存されているアドレスをインポートします。
アドレス帳をパーソナル友人リストにのみインポートする場合は、**[パーソナル友人リストに追加する]** チェックボックスが選択されていることを確認します。アドレス帳をグローバル友人リストにのみインポートする場合は、このチェックボックスが選択されていないことを確認します。
- 3 **[次へ]** をクリックします。確認ページに、McAfee SpamKiller により追加されたアドレスの数が表示されます。
- 4 **[完了]** をクリックします。グローバル友人リストまたはパーソナル友人リストにアドレスが表示されます。

アドレス帳の情報を編集するには

自動インポートによってインポートされるアドレス帳についての情報を編集します。

- 1 **[設定]** タブをクリックしてから、**[アドレス帳]** をクリックします。
- 2 アドレス帳を選択してから、**[編集]** をクリックします。
- 3 アドレス帳の情報を編集してから、**[OK]** をクリックします。

自動インポート リストからアドレス帳を削除するには

McAfee SpamKiller によってアドレス帳からアドレスを自動的にインポートしないようにするには、そのアドレス帳のエントリを削除します。

- 1 **[設定]** タブをクリックしてから、**[アドレス帳]** をクリックします。
- 2 アドレス帳を選択してから、**[削除]** をクリックします。確認ダイアログ ボックスが表示されます。
- 3 **[はい]** をクリックすると、リストからアドレス帳が削除されます。

友人を追加する

友人からの E メールをすべて確実に受信するには、友人の名前とアドレスを友人リストに追加します。[友人] ページ、[ブロックされたメール] ページ、[許可されたメール] ページ、および Microsoft Outlook または Outlook Express から友人を追加できます。

注

ご使用のコンピュータで Windows 2000 または Windows XP を実行しており、McAfee SpamKiller に複数のユーザが追加されている場合は、管理者として McAfee SpamKiller にログオンしてグローバル友人リストにアドレスを追加する必要があります。

[ブロックされたメール] ページまたは [許可されたメール] ページから友人を追加するには

- 1 [メッセージ] タブをクリックしてから、[ブロックされたメール] タブまたは [許可されたメール] タブをクリックします。

または

Microsoft Outlook または Outlook Express から  をクリックして、該当するアカウントの [ブロックされたメール] ページを開きます。

[ブロックされたメール] ページまたは [許可されたメール] ページが表示されます。

- 2 友人リストに追加する送信者からのメッセージを選択してから、[友人を追加する] をクリックします。
- 3 [アドレス] ボックスに、友人リストに追加するアドレスを入力します。[アドレス] フィールドには、選択したメッセージのアドレスがすでに入力されている場合があります。
- 4 [名前] フィールドに友人の名前を入力します。
- 5 [友人タイプ] フィールドから、追加するアドレスの種類を選択します。

- ◆ [1つの E メール アドレス]: 送信者の E メール アドレスが友人リストの [ドメイン] セクションに追加されます。
- ◆ [ドメインに属する全ユーザ]: ドメイン名が友人リストの [ドメイン] セクションに追加されます。このドメインからの E メールは McAfee SpamKiller によってすべて許可されます。
- ◆ [送信リスト]: アドレスが友人リストの [送信リスト] セクションに追加されます。

アドレスをパーソナル友人リストにのみ追加する場合は、[パーソナル友人リストに追加する] チェックボックスが選択されていることを確認します。アドレスをグローバル友人リストにのみ追加する場合は、このチェックボックスが選択されていないことを確認します。

- 6 [OK] をクリックします。追加された友人からのすべての E メールは、友人のメールとしてマークされ、[許可されたメール] ページに表示されます。

[友人] ページから友人を追加するには

- 1 [友人] タブをクリックしてから、[友人を追加する] をクリックします。[友人情報のプロパティ] ダイアログ ボックスが表示されます。
- 2 [アドレス] ボックスに、友人リストに追加するアドレスを入力します。
- 3 [名前] フィールドに友人の名前を入力します。
- 4 [友人タイプ] フィールドから、追加するアドレスの種類を選択します。
 - ◆ [1つのEメールアドレス]: 送信者のEメールアドレスが友人リストに追加されます。
 - ◆ [ドメインに属する全ユーザ]: ドメイン名が友人リストの[ドメイン] セクションに追加されます。このドメインからのEメールはMcAfee SpamKillerによってすべて許可されます。
 - ◆ [送信リスト]: アドレスが友人リストの[送信リスト] セクションに追加されます。

アドレスをパーソナル友人リストにのみ追加する場合は、[パーソナル友人リストに追加する] チェックボックスが選択されていることを確認します。アドレスをグローバル友人リストにのみ追加する場合は、このチェックボックスが選択されていないことを確認します。
- 5 [OK] をクリックします。追加された友人からのすべてのEメールは、友人のメールとしてマークされ、[許可されたメール] ページに表示されます。

Microsoft Outlook から友人を追加するには

- 1 Microsoft Outlook の E メール アカウントを開きます。
- 2 友人リストに追加する送信者からのメッセージを選択します。
- 3 Microsoft Outlook ツールバーの  をクリックします。追加された友人からのすべてのEメールは、友人のメールとしてマークされ、[許可されたメール] ページに表示されます。

友人を編集する

- 1 [友人] タブをクリックしてから、[Eメール アドレス]、[ドメイン]、または[送信リスト] タブをクリックします。

グローバル友人リストが表示されます。パーソナル友人リストを表示するには、いずれかのタブの下矢印  をクリックして、[パーソナル友人リスト] を選択します。

注

コンピュータのオペレーティング システムが Windows 2000 または Windows XP であり、複数のユーザが McAfee SpamKiller に追加されている場合、グローバル友人リストにアクセスできるのは管理者のみです。

- 2 リストからアドレスを選択して、[編集] をクリックします。
- 3 情報を編集して、[OK] をクリックします。

友人を削除する

友人リストで必要なくなったアドレスを削除します。

- 1 **[友人]** タブをクリックしてから、**[E メール アドレス]**、**[ドメイン]**、または**[送信リスト]** タブをクリックします。

グローバル友人リストが表示されます。パーソナル友人リストを表示するには、いずれかのタブの下矢印  をクリックして、**[パーソナル友人リスト]** を選択します。

注

コンピュータのオペレーティング システムが Windows 2000 または Windows XP であり、複数のユーザが McAfee SpamKiller に追加されている場合、グローバル友人リストにアクセスできるのは管理者のみです。

- 2 リストからアドレスを選択して、**[この友人情報を削除する]** をクリックします。確認ダイアログ ボックスが表示されます。
- 3 **[はい]** をクリックして友人を削除します。

ブロックされたメッセージおよび許可されたメッセージを処理する

5

ブロックされたメッセージおよび許可されたメッセージにアクセスするには、[メッセージ] タブをクリックします。[ブロックされたメール] ページと [許可されたメール] ページには同様の機能があります。

[ブロックされたメール] ページ

ブロックされたメッセージを表示するには、[メッセージ] ページの [ブロックされたメール] タブをクリックします。

注

Outlook の受信ボックスを開き、Microsoft Outlook または Outlook Express ツールバーで  をクリックすることによって、Microsoft Outlook アカウントからブロックされたメッセージにアクセスすることもできます。

ブロックされたメッセージとは、McAfee SpamKiller によってスパムとして識別され、受信ボックスから削除され、[ブロックされたメール] フォルダに移動されたメッセージを指します。

[ブロックされたメール] ページには、E メール アカウントから削除されたすべてのスパムメッセージが表示されます。特定のアカウントのブロックされた E メールを表示するには、[ブロックされたメール] タブの下矢印  をクリックして、表示するアカウントを選択します。

上部のメッセージ ペインに、日付ごとにソートされたスパム メッセージが一覧表示されます。最近のメッセージが一番初めに表示されます。下部のプレビュー ペインには、選択したメッセージのメッセージ テキストが表示されます。

注

コンピュータのオペレーティング システムが Windows 2000 または Windows XP であり、複数のユーザが McAfee SpamKiller に追加されている場合、McAfee SpamKiller に限定ユーザとしてログオンすると、メッセージのコンテンツは下部のプレビュー ペインには表示されません。

中央ペインにはメッセージの詳細が表示されます。下矢印  をクリックすると、メッセージの詳細ペインが展開され、メッセージ テキストやヘッダを HTML のフォーマット タグなどのネイティブ フォーマットで表示できます。メッセージの詳細ペインには次の内容が表示されます。

- アクション — [アクション] は、McAfee SpamKiller がスパム メッセージを処理した方法について説明します。[アクション] は、メッセージをブロックしたフィルタのアクションに関連付けられています。

- 理由 — [理由] は、McAfee SpamKiller がメッセージをブロックした理由を説明します。理由をクリックするとフィルタ エディタが開き、フィルタを表示できます。フィルタ エディタには、フィルタによって検索されるメッセージの内容、およびフィルタによって検索されたメッセージに対して McAfee SpamKiller が実行するアクションが表示されます。
- 送信元 — [送信元] には、メッセージの送信者が表示されます。
- 日付 — [日付] には、メッセージの送信日が表示されます。
- 送信先 — [送信先] には、メッセージの送信先が表示されます。
- 件名 — [件名] には、メッセージの件名に表示されるトピックが表示されます。

左の列のメッセージの横には、手動による苦情またはエラー メッセージが送信されたかどうかを示すアイコンが表示されます。



- 苦情の送信 — メッセージについての苦情が送信されました。



- エラー メッセージの送信 — スпам メッセージの返信アドレスにエラー メッセージが送信されました。



- 苦情およびエラー メッセージの送信 — 苦情とエラー メッセージが送信されました。

[許可されたメール] ページ

許可されたメッセージを表示するには、[メッセージ] ページの [許可されたメール] タブをクリックします。

[許可されたメール] ページには、あらゆる E メール アカウントの受信ボックスにあるすべてのメッセージが表示されます。ただし、MAPI アカウントの場合、[許可されたメール] ページに内部の E メールは含まれません。特定のアカウントの許可された E メールを表示するには、[許可されたメール] タブの下矢印  をクリックして、表示するアカウントを選択します。

注

McAfee SpamKiller は、通常の E メールを受け入れるように設計されています。受信すべき E メールが [ブロックされたメール] リストに表示されている場合は、そのメッセージを選択して [このメッセージを復元する] をクリックすると、メッセージを受信ボックス (および [許可されたメール] リスト) に戻すことができます。

[ブロックされたメール] ページと同様、上部のメッセージ ペインに、日付ごとにソートされたメッセージが一覧表示されます。下部のプレビュー ペインには、選択したメッセージのメッセージ テキストが表示されます。

中央のペインには、メッセージが友人リストの誰によって送信されたか、メッセージがフィルタ条件に合っているかどうかが表示されます。ただし、フィルタアクションを **[許可する]** または **[潜在的なスパムとしてマークする]** のいずれかに設定する必要があります。下矢印  をクリックすると、メッセージの詳細ペインが展開され、メッセージテキストやヘッダを HTML のフォーマット タグなどのネイティブ フォーマットで表示できます。

メッセージの詳細ペインには次の内容が表示されます。

- アクション — **[アクション]** は、McAfee SpamKiller がメッセージを処理した方法について説明します。
- 理由 — メッセージにフラグが付けられている場合、**[理由]** セクションに McAfee SpamKiller によりメッセージにフラグが付けられた理由を表示します。
- 送信元 — **[送信元]** には、メッセージの送信者が表示されます。
- 日付 — **[日付]** には、メッセージの送信日が表示されます。
- 送信先 — **[送信先]** には、メッセージの送信先が表示されます。
- 件名 — **[件名]** には、メッセージの件名に表示されるトピックが表示されます。

メッセージの横に、以下のアイコンのいずれかが表示されます。



- 友人からの E メール — McAfee SpamKiller により、メッセージの送信者が友人リストに登録されていることが検出されました。このメッセージは、維持しておくメッセージです。



- スパムの可能性あり — このメッセージは、**[潜在的なスパムとしてマークする]** に設定されたフィルタアクションに一致します。



- 苦情の送信 — メッセージについての苦情が送信されました。



- エラー メッセージの送信 — スпам メッセージの返信アドレスにエラー メッセージが送信されました。



- 苦情およびエラー メッセージの送信 — 苦情とエラー メッセージが送信されました。

ブロックされたメールおよび許可されたメールに対するタスク

[ブロックされたメール] ページおよび [許可されたメール] ページにある右側の画面には、実行可能なタスクの一覧が表示されます。

- このメッセージをブロックする — 受信ボックスからメッセージを削除し、McAfee SpamKiller の [ブロックされたメール] フォルダにメッセージを移動します (このオプションは、[許可されたメール] ページのみで表示されます)。
- このメッセージを復元する — メッセージを受信ボックスに戻し (このオプションは [ブロックされたメール] ページのみで表示されます)、[元に戻す] ダイアログボックスを開きます。友人リストに送信者を自動的に追加し、送信者からのすべてのメッセージを復元することができます。
- このメッセージを削除する — 選択されたメッセージを削除します。
- 友人を追加する — 友人リストに送信者の名前、E メール アドレス、ドメイン、または送信リストを追加します。
- フィルタを追加する — フィルタを作成します。
- McAfee にレポートする — 受信したスパム メッセージを McAfee に通知します。
- 苦情を送信する — 送信者のドメインの管理者、または入力した別の E メール アドレスにスパムに関する苦情を送信します。
- エラーを送信する — スпам メッセージの返信アドレスにエラーメッセージを送信します。

メッセージを復元する

受信すべきメールが [ブロックされたメール] ページに含まれている場合、それらのメッセージを受信ボックスに戻すことができます。

メッセージを復元するには

- 1 [メッセージ] タブをクリックしてから、[ブロックされたメール] タブをクリックします。
または
Microsoft Outlook または Outlook Express の受信ボックスから  をクリックして、該当するアカウントの [ブロックされたメール] ページを開きます。
[ブロックされたメール] ページが表示されます。
- 2 メッセージを選択してから、[このメッセージを復元する] をクリックします。[元に戻す] ダイアログボックスが表示されます。
 - ◆ **友人を追加** — 友人リストに送信者を追加します。
 - ◆ **同じ送信者からのすべてのメッセージを元に戻す** — 選択されたメッセージの送信者からのブロックされたメッセージをすべてレスキューします。
- 3 [OK] をクリックします。メッセージが受信ボックスと [許可されたメール] フォルダに戻されます。

メッセージをブロックする

現在受信ボックスに存在しているスパム メッセージをブロックします。メッセージをブロックすると、McAfee SpamKiller によりフィルタが作成され、受信ボックスからメッセージが自動的に削除されます。受信メッセージは、[許可されたメール] ページまたは Microsoft Outlook または Outlook Express からブロックできます。

[許可されたメール] ページからメッセージをブロックするには

- 1 [メッセージ] タブをクリックしてから、[許可されたメール] タブをクリックします。
[許可されたメール] ページが開き、現在受信ボックスにあるメッセージが表示されます。
- 2 メッセージを選択してから、[このメッセージをブロックする] をクリックします。受信ボックスおよび [許可されたメール] ページからメッセージが削除され、[ブロックされたメール] フォルダにメッセージのコピーが表示されます。

Microsoft Outlook からメッセージをブロックするには

外部メッセージ(インターネット サーバから送信されたメッセージ)のみをブロックできます。

- 1 Microsoft Outlook または Outlook Express の受信ボックスを開きます。
- 2 メッセージを選択してから、 をクリックします。メッセージのコピーが [ブロックされたメール] フォルダに移動されます。

メッセージを削除する

ブロックされたメッセージは、受信ボックスから削除された 15 日後に McAfee SpamKiller によって [ブロックされたメール] フォルダから自動的に削除されます。メッセージが削除されるまでの日数は変更可能で、メッセージを手動で削除することもできます。

[許可されたメール] フォルダは現在受信ボックスに存在するメッセージを反映しているため、McAfee SpamKiller によりこのフォルダからメッセージが自動的に削除されることはありません。

ブロックされたメッセージの自動削除の設定を変更するには

デフォルト(標準の設定)では、McAfee SpamKiller がスパムを発見すると、そのスパムは受信ボックスから削除され、McAfee SpamKiller の [ブロックされたメール] フォルダに移動されます。[ブロックされたメール] フォルダ内のブロックされたメッセージは、15 日後に McAfee SpamKiller によって自動的に削除されます。ブロックされたメッセージを McAfee SpamKiller で自動的に削除する頻度は変更できます。

スパム メッセージを [ブロックされたメール] フォルダに移動する代わりに、McAfee SpamKiller は E メール の件名に「[spam]」またはユーザ指定のタグを付けて、メッセージを受信ボックスに保持することもできます。メッセージにタグを付けると、タグ付けされたメッセージを「ジャンク」フォルダなどの E メール クライアントの別のフォルダに移動できるため便利です。E メール クライアントで、「[spam]」タグの付いたメッセージを検索して、それらのメッセージを指定のフォルダに移動することを指定するルールを作成することによって、タグ付けされたメッセージを移動できます。

- 1 **[設定]** タブをクリックし、**[フィルタリング オプション]** アイコンをクリックします。
- 2 McAfee SpamKiller によるスパム メッセージの処理方法を選択します。
 - ◆ **[ブロックされたメール ボックスにスパムを移動する]**—スパム メッセージは受信ボックスから削除され、McAfee SpamKiller の **[ブロックされたメール]** フォルダに移動します。
 - ◆ **[ブロック後の保存期間]**—ブロックされたメッセージは指定期間、**[ブロックされたメール]** フォルダに保持されます。
 - ◆ **[スパムをタグ付けし受信ボックスに保存する]**—スパム メッセージは受信ボックスに保持されますが、メッセージの件名には「[spam]」またはユーザが入力したタグが付けられます。
- 3 **[OK]** をクリックします。

メッセージを手動で削除するには

- 1 **[メッセージ]** タブをクリックしてから、**[ブロックされたメール]** タブをクリックします。
または
Microsoft Outlook または Outlook Express の受信ボックスから  をクリックして、該当するアカウントの **[ブロックされたメール]** ページを開きます。
- 2 削除するメッセージを選択します。
- 3 **[このメッセージを削除する]** をクリックします。確認ダイアログ ボックスが表示されます。
- 4 **[はい]** をクリックすると、メッセージが削除されます。

友人リストに友人を追加する

26 ページの「**[ブロックされたメール]** ページまたは **[許可されたメール]** ページから友人を追加するには」を参照してください。

フィルタを追加する

フィルタの詳細については、オンライン ヘルプの「フィルタを使用する」を参照してください。

- 1 **[メッセージ]** タブをクリックします。
- 2 **[ブロックされたメール]** または **[許可されたメール]** タブをクリックしてから、**[フィルタを追加する]** をクリックします。**[フィルタ エディタ]** ダイアログ ボックスが表示されます。
- 3 **[追加]** をクリックして、フィルタ条件を作成します。**[フィルタ条件]** ダイアログ ボックスが表示されます。

- 4 以下の手順に従ってフィルタ条件を作成します。

フィルタの条件は、たとえば、「mortgage という語を含むメッセージ テキスト」のように、メッセージ中から何を検索するかを指定するためのルールです。この例では、フィルタによって「mortgage」という語を含むメッセージが検索されます。詳細については、オンライン ヘルプの「フィルタ条件」を参照してください。

- a 最初のフィールドから条件のタイプを選択します。
- b 後続のボックスで、値を選択または入力します。
- c 以下のオプションが表示される場合、さらに詳しいフィルタを定義できます。

[フォーマットコードを確認する]— このオプションは、フィルタ条件がメッセージ テキストを検索するよう定義されている場合にのみ表示されます。このチェックボックスを選択すると、メッセージのテキストとフォーマット コードの両方から、指定したテキストが検索されます。

[大文字と小文字を区別する]— このオプションは、条件値を入力した条件に対してのみ表示されます。このチェックボックスを選択すると、入力した値の大文字と小文字が区別されます。

[異なるつづりを含む]— スпам送信者がよく使う意図的なスペルミス(つづりの間違い)を検出できます。たとえば、「mortgage」という単語は、フィルタを回避するための「mortg@g3」のスペルミスと判断されます。

- d **[OK]** をクリックします。

- 5 以下の手順に従って別のフィルタを作成するか、[手順 6](#)に進んでフィルタ アクションを選択します。

- a **[追加]** をクリックして、フィルタ条件を作成します。フィルタ条件の作成が終了したら、**[OK]** をクリックします。

[フィルタ条件] リストには、両方のフィルタ条件が**[および]**で結合されて表示されます。**[および]**は、両方のフィルタ条件に一致するメッセージが検索されることを示します。いずれか一方の条件に一致するメッセージを検索する場合、**[および]** をクリックし、ボックスから**[または]**を選択して、**[および]**を**[または]**に変更します。

- b 別の条件を作成するには、**[追加]** をクリックして[手順 6](#)に進み、フィルタ アクションを選択します。

3個以上のフィルタ条件を作成した場合、句を作成してフィルタ条件をグループ化することができます。グループ化の例については、オンライン ヘルプの「条件をグループ化する」を参照してください。

フィルタ条件をグループ化するには、フィルタ条件を選択し、**[グループ化]** をクリックします。

グループ化された条件は青でハイライト表示されます。

注

フィルタ条件のグループ化を解除するには、グループ化されたフィルタ条件を選択し、**[グループ解除]** をクリックします。

- 6 **[アクション]** フィールドからフィルタ アクションを選択します。フィルタ アクションでは、フィルタにより検索されたメッセージを処理する方法を指定します。詳細については、オンライン ヘルプの「フィルタ アクション」を参照してください。
- 7 **[詳細]** をクリックして、高度なフィルタ オプションを選択します (詳細オプションの使用は必須ではありません)。詳細については、オンライン ヘルプの「高度なフィルタ オプション」を参照してください。
- 8 フィルタの作成が終了したら、**[OK]** をクリックします。

注

条件を編集するには、条件を選択し、編集します。条件を削除するには、条件を選択し、**[削除]** をクリックします。

マカフィーにスパムをレポートする

マカフィーにスパムを報告できます。フィルタの更新を作成するために、報告されたスパムはマカフィーで分析されます。

マカフィーにスパムをレポートするには

- 1 **[メッセージ]** タブをクリックしてから、**[ブロックされたメール]** または **[許可されたメール]** タブをクリックします。**[ブロックされたメール]** ページまたは **[許可されたメール]** ページが表示されます。
- 2 メッセージを選択してから、**[マカフィーにレポートする]** をクリックします。確認ダイアログ ボックスが表示されます。
- 3 **[はい]** をクリックします。マカフィーにメッセージが自動的に送信されます。

手動で苦情を送信する

スパムの送信者からさらなるスパム メッセージが送信されることを防ぐために、苦情を送信します。苦情の送信の詳細については、オンライン ヘルプの「苦情およびエラーメッセージを送信する」を参照してください。

手動で苦情を送信するには

- 1 **[メッセージ]** タブをクリックしてから、**[ブロックされたメール]** タブまたは **[許可されたメール]** タブをクリックします。メッセージ リストが表示されます。
- 2 苦情を送信するメッセージを選択してから、**[苦情を送信する]** をクリックします。**[苦情を送信する]** ダイアログ ボックスが表示されます。
- 3 苦情の送信先を選択します。

警告

ほとんどの場合、**[送信者]** を選択するべきではありません。スパムの送信者に苦情を送信すると、E メール アドレスが認証されるため、その送信者から受信するスパム数が増える可能性があります。

- 4 **[次へ]** をクリックして、表示されるダイアログ ボックスの手順に従います。

エラー メッセージを送信する

エラー メッセージの送信の詳細については、オンライン ヘルプの「苦情およびエラー メッセージを送信する」を参照してください。

スパムの送信者からさらなるスパム メッセージが送信されることを防ぐために、エラー メッセージを送信します。

手動でエラー メッセージを送信するには

- 1 **[メッセージ]** タブをクリックしてから、**[ブロックされたメール]** タブまたは **[許可されたメール]** タブをクリックします。メッセージ リストが表示されます。
- 2 特定のスパム メッセージに関するエラー メッセージを送信するには、メッセージを選択してから、**[エラーを送信する]** をクリックします。スパム メッセージの返信アドレスにエラー メッセージが送信されます。

索引

E

- E メールアカウント, 13
 - E メールクライアントのSpamKillerへのポイント, 14
 - MAPIアカウントの編集, 19
 - MSN/Hotmailアカウントの編集, 17
 - POP3アカウントの編集, 15
 - 削除, 14
 - 追加, 13
 - 編集, 15
- E メールアカウントを追加する, 13
- E メールクライアントのSpamKillerへのポイント, 14

M

- McAfee SecurityCenter, 11
- McAfee SpamKillerの概要, 7

S

- SecurityCenter, 11
- SpamKiller
 - SpamKillerを開く, 11
 - [概要]ページ, 8
 - [許可されたメール]ページ, 30
 - フィルタの無効化, 12
 - フィルタの有効化, 12
 - [ブロックされたメール]ページ, 29
- SpamKillerを開く, 11

か

- [概要]ページ, 8

き

- 機能, 7
- 許可されたメール
 - エラーメッセージの送信, 37
 - 許可されたメッセージの処理, 29
 - 許可されたメッセージのリストのアイコン, 31
 - タスク, 32
 - 友人リストへの追加, 34

- [許可されたメール]ページ, 30

く

- クイックスタートカード, iii

こ

- 子供の保護, 21

さ

- [サポート]アイコン, 8

し

- システム要件, 9

つ

- 追加, フィルタ, 34

は

- パスワード, 21

ふ

- フィルタ
 - 無効化, 12
 - 有効化, 12
- フィルタ、追加, 34
- ブロックされたメール
 - エラーメッセージの送信, 37
 - タスク, 32
 - ブロックされたメッセージの処理, 29
 - ブロックされたメッセージのリストからのメッセージの削除, 33
 - ブロックされたメッセージのリストのアイコン, 30
 - メッセージの復元, 32
 - 友人リストへの追加, 34
- [ブロックされたメール]ページ, 29
- ブロックされたメッセージおよび許可されたメッセージに対するタスク, 32

へ

[ヘルプ]アイコン, 8

ま

マカフィーへのスパムのレポート, 36

マルチユーザ環境での SpamKiller へのログオン, 22

め

メッセージの復元, 32

メッセージのブロック, 33

ゆ

ユーザ, 13

 SpamKiller へのログオン, 22

 パスワードの作成, 21

 ユーザタイプ, 20

 ユーザプロフィールの削除, 22

 ユーザプロフィールの編集, 22

 ユーザの切り替え, 22

 ユーザの追加, 20

ユーザの切り替え, 22

[ユーザを切り替える]アイコン, 8

友人リスト, 23

 E メールアドレスの追加, 26

 アドレス帳のインポート, 24

 [ブロックされたメール]ページまたは
 [許可されたメール]ページからの友人の追加, 34

友人リストへの E メールアドレスの追加, 26

友人リストへのアドレス帳のインポート, 24